

このサイトはAvast Business製品専用です。AVG Business製品に関する記事については、[AVG Business ヘルプを参照してください](#)。適切な場所にも探している情報が見つからない場合は、[Avast Businessサポートに連絡してさらにサポートを受けてください](#)。

現在の場所: オンプレミス コンソール>コンソール管理 - Linux > CentOS 7 Linux サーバーの準備

CentOS 7 Linuxサーバーの準備

この記事は以下に適用されます:

- Avast Business オンプレミス コンソール

Docker を使用して Linux 用のAvast Business オンプレミス コンソールをインストールできます。ただし、まず Linux サーバーに Docker を実行できる OS (CentOS 7 が望ましい) があることを確認する必要があります。必要に応じて、サーバー上の仮想マシンで Linux サーバーとコンソールを実行することもできますが、仮想マシンはシステム要件の[記事](#)のすべてのガイドラインを満たしている必要があります。

CentOS 7のインストール

1. CentOS 7の最小ISOファイルをダウンロードする
2. インストール中に、**Centosのインストール**と希望の言語を選択します。
3. 次の画面で、次の操作を実行します。
 - **ネットワークとホスト名の下:**
 - **[構成]**をクリックします。次に、[全般]セクションで、[このネットワークが利用可能な場合は自動的に接続する]の横にあるチェックボックスが選択されていることを確認します。
 - イーサネットで、デバイスを（接続名（MACアドレス））に設定します
 - 右上隅の**Etho**スライダーをオンにすると、イーサネットが接続状態に変わります。左下隅でコンピューターのホスト名を変更することもできます。次に**[完了]**をクリックします。
 - **CentOS 7をインストールする前にイーサネット接続を有効にしないと、サーバーの起動時にethoが自動的に接続されなくなります。この手順を忘れた場合は、#nmtuiでネットワークマネージャを起動し、既存のイーサネット接続の名前をethoに変更して編集し、再起動してください。**
 - **日付と時刻がタイムゾーンと一致していることを確認します**
 - **インストールソースの下で、マウントされた CentOS 7 ISO の正しいラベルが付いた自動検出されたインストールメディアが選択されている必要があります。または、ISO ファイルにネットワークリソースを使用している場合は、ここでそれを選択することもできます。ISO が検出されたことを確認したら、[完了]をクリックします。**
 - **ソフトウェアの選択：このオプションを最小インストールに設定することをお勧めします**
 - **Kdumpとセキュリティポリシー：**オプションに十分精通していない限り、これらの設定を変更することはお勧めしません。
 - **インストール先:**
 - ローカル標準ディスクで正しいハードドライブを選択します。その他のストレージオプションで、パーティションを構成するを選択します。次に、**完了**をクリックします。

- ドライブがすでにパーティション化されている場合は、続行する前に既存のパーティションをすべて削除してください。次に、[\[ここをクリックして自動的に作成する\]](#)オプションを選択します。[\[完了\]](#)をクリックして**変更を受け入れます**。

4. インストールの開始をクリック

- ルートパスワードを設定し、ユーザーを作成します。作成するユーザーが管理者であることを確認してください。
- インストールが完了し、ユーザーとルートパスワードを取得したら、「再起動」を選択します。

CentOS 7 の設定

サーバーが新しくインストールされた OS を起動したら、次のコマンドを入力して、#suユーザーがターミナルセッションに root としてログインできるようにします。プロンプトが表示されたら、root パスワードを入力します。または、管理者ユーザーとして実行するすべてのコマンドの前に「sudo」を付加することもできます。管理者権限で次のコマンドを入力します。

1. #yum -y install man: man ページリポジトリをインストールします

- 「リポジトリ: base/7/x86_64 の有効なベース URL が見つかりません」というエラーが表示された場合は、コマンドを実行して#nmtui ネットワーク マネージャー ユーザー インターフェイスを開きます。次に、ネットワーク接続を編集し、アドレス行から # を削除して設定を保存し、接続をアクティブ化します。
- **設定を変更した後、この手順のコマンドを再度実行します。**

2. #visudo

- 「#%wheel ALL=(ALL) ALL」という行を見つけて、# 記号を削除し、保存して終了します。# 記号が存在しない場合は、変更せずに終了します。

3. #yum -y update: CentOS 7 アップデートをインストールします

4. #yum -y install epel-release: 最新の epel (Extra Packages for Enterprise Linux) リポジトリをインストールします

5. #yum -y install dnf: パッケージのインストール、更新、削除に使用できる dnf をマシンにインストールします。

6. #dnf -y update: dnf パッケージを更新します

7. #dnf -y upgrade: dnf パッケージをアップグレードします

8. #dnf -y install net-tools: ネットワークツールコマンドリポジトリをインストールします

9. #dnf -y install dnf-plugins-core: マルチデバイス管理用の最新バージョンの dnf プラグインをインストールします

10. #yum -y install yum-utils: デバイスに yum ユーティリティをインストールします。これは、yum リポジトリをより適切に管理するために使用されるツールとプログラムのグループです。

11. #dnf -y install vim: vim テキストエディタをインストールします

これらの手順には、オンプレミス コンソールを Linux サーバーにインストールするために必要な基本レベルの構成が含まれています。詳細な推奨事項については、[「推奨される CentOS 7 構成」](#)を参照してください。

サーバーの準備が完了したら、[Linux への Docker Compose のインストール](#)を開始できます。

このセクションの他の記事:

[CentOS 7 の推奨構成](#)

[Linux に Docker Compose をインストールする](#)

[Linux にオンプレミス コンソールをインストールする](#)

[Linux での Docker の更新とアップグレード](#)

[Linux 上のオンプレミス コンソールの更新](#)

[Linuxでのオンプレミスコンソールデータベースのバックアップと復元](#)

関連記事：

[システム要求](#)

[ファイアウォールの要件](#)

現在の場所: [オンプレミスコンソール](#) > [コンソール管理](#) - [Linux](#) > [CentOS 7 Linuxサーバーの準備](#)